

平成27年9月17日

仙台七夕まつり協賛会
会長 鎌田 宏

児童生徒による故郷復興プロジェクト 「七夕飾り制作」に関する要望書

平素、当協賛会事業につきましては、種々ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、仙台市内の全小中学校の児童生徒が折鶴を中心とする七夕飾りを製作し、藤崎前(一番町中央通口)へ掲出する標記プロジェクトの「七夕飾り制作」につきましては、毎年、七夕見物に訪れる多くの人々に感動を与え、子供達の復興への思いを全国へ発信する素晴らしい事業であると認識しております。

また、本事業は、次代を担う子供達に対して、震災の記憶を風化させることなく、復興への思いを忘れずに心一つにしていくという意識の醸成を図るとともに、伊達政宗公の時代から続く「仙台七夕まつり」の伝統の継承につながる絶好の機会でもあると考えます。

事業の遂行に当たり、とりわけ教職員・保護者など学校関係の皆様より多大なるご尽力を賜っていることに対し、改めて感謝申し上げたいと存じます。

つきましては、当協賛会といたしましても、本事業の更なる振興に向けて支援を
して参りたいと存じますので、本事業の継続に向けて引き続き特段のご高配を賜り
ますようよろしくお願い申し上げます。